

平成 29 年度地域課題研究助成の報告

1. 研究課題名

早産児を育てる母親の NICU 退院後の不安

2. 研究代表者及び所属

羽深朱美 新潟県立中央病院 東 7 病棟

3. 研究メンバー

羽深朱美¹⁾ 中村直美¹⁾ 丸山智恵美¹⁾ 上野直美¹⁾ 北村千章²⁾ 飯吉令枝²⁾

1) 新潟県立中央病院 東 7 病棟 2) 新潟県立看護大学

4. 学内責任者

新潟県立看護大学 飯吉令枝

5. 研究経費執行額

| | 旅費 | 報償費 | 役務費 | 需要費 | 合計 |
|---------|----|--------|--------|--------|--------|
| 執行額 (円) | 0 | 18,000 | 59,397 | 22,298 | 99,695 |

6. 研究の概要

早産児への出生直後からの長期的支援や、退院後早期の介入が重要視されている。A 病院は、NICU のある病院であるため、この課題に対して今まで以上に地域全体で取り組む必要があると考え、本研究に取り組んだ。本研究では、在胎週数 34 週以下で出生し、NICU 退院後半年前後経過した子どもの母親 7 名に対して、成長発達、育児の不安についてのインタビューを行い、母親の不安や困りごとを明らかにした。インタビュー内容の分析から、39 個のコード、18 個のサブカテゴリー、5 個のカテゴリーに分類された。この結果から、子どもの身体の成長、発達についての不安は退院後 6 か月経過しても継続していること、授乳や病気に対する不安、育児不安や、地域の子育て支援の理解方法がわからないということが明らかになった。A 病院の NICU において子どもの母親に対して、退院後の育児がイメージできる指導や、退院後の地域の相談窓口を紹介するなどの改善が必要である。また、子どもの退院後は外来、乳児健診でのフォロー、訪問の際に成長に合わせた支援をしていけるように地域の保健師や助産師、サポートグループへ繋いでいく必要があることが示唆された。

この結果を得て、平成 30 年 2 月に上越地域の保健師、助産師、子育て支援を行っている NPO 法人、当院看護師、助産師が参加し、「NICU 退院児研修会」を実施した。看護研究の経過報告、小児科医の学習会を行い、早産児の支援について情報交換や病院と地域の連携について意見交換した。この研修会は、病院と地域の連携を検討することに有効であった。

7. 今後の学会発表の予定

- ・有 (H30 年度 新生児看護学会)